

平和のまちミュージアム 見学

2022年 10月9日(日)

参加者 10人(敬称略、順不同)

池田慶子、江崎芳子、樺沢敬視、小松良子、坂本博子、
定平育子、田中眞弓、永吉和幸、畑美根子、宮尾節子



夢追塾同窓会3期会は懇親研修グループ「みよし会」の例会を10月9日(日)に開催し、「平和のまちミュージアム」の館内見学や、会員の一人である永吉和幸さんによる卓話「北九州の面白歴史物語」を聞きました。

<平和のまちミュージアム>



午後2時に集合後、今年4月にオープンした「平和のまちミュージアム」を見学しました。ほとんどの会員が初めての入館で、第二次世界大戦で北九州のほとんどの地域が空襲を受けたことや、小倉に落とされる予定だった原爆がなぜ長崎に変更されたか、風船爆弾の製造工程と模型などの貴重な資料を見学。約1時間の学習で、戦争の恐怖と平和の貴さを学びました。

<北九州の面白歴史物語>

ミュージア見学の後、魚町銀天街内の「まなびとESDステーション」まで徒歩で移動。その間、北九州市観光案内ボランティアとして活動している永吉さんが周辺の施設の歴史やエピソードなどを披露。中でも小倉城の石垣に現れた「白装束の忍者」の話には皆が興味をそそられました。



まなびとESDステーションでは、永吉さんが作成したパワーポイント「面白歴史物語」を鑑賞。①旧小倉そごうの1階に長崎街道が残った②勝山橋の半分は勝山公園③小文字焼きの始まりと小倉競輪の関係……の3つの「意外な事実」を知りました。



最後の参加者の近況報告会では、2年ぶりの再会という会員もいて、大いに盛り上がりました。次回は今年度みよし会会長の宮尾さんが企画することが決まりました。